

藏王

題字 大久保伝蔵 氏



公益社団法人
山形青年会議所

〒990-0042
山形市七日町2-1-3 プラザビル七日町3F
TEL (023) 632-8665
FAX (023) 633-2219
HP : <http://www.yamagatajc.or.jp>
E-mail : y-jc@macbase.or.jp

No. 314

2025年11月30日

●理事長 岡崎 弘門

●編集 総務広報委員会

2025年スローガン

【日本青年会議所】 Raise Your Flag 理想への挑戦

【東北地区協議会】 All for LOM ~東北地区の要となれ~

【山形ブロック協議会】 We are YAMAGATA ! We are JC ! ~希望あふれる理想を描き、変えたのだと誇れる「やまがた」の未来へ~

【山形青年会議所】 NEW Normal,Era,World



ご挨拶

公益社団法人山形青年会議所
2025年度 第70代理事長

岡崎 弘門

平素より、公益社団法人山形青年会議所の運動に対し、深いご理解と温かいご支援を賜っておりますこと、心より御礼を申し上げます。

2025年度もいよいよ終盤を迎えようとしています。皆様におかれましては、この一年間、山形青年会議所の運動に真摯に取り組んでいただき、心から感謝申し上げます。

本年度、私たちは「NEW normal era world」というスローガンを掲げ、急速に変化する時代の中で、私たち青年がどのような姿勢で地域に向き合い、どのように価値を創造していくのかを改めて問い合わせながら活動を進めてまいりました。社会の常識や前提が次々と変わることの時代において、柔軟さと挑戦心を持ち続けることの大切さを、私自身も実感した一年でした。

本年は山形青年会議所にとって、特別な節目となる「創立70周年」の年もありました。70年という長い歴史の中で受け継がれてきた先輩諸氏の想いと努力、そして地域社会との信頼関係があつてこそ、今の私たちがあります。その歴史を背負いながら活動できることの責任と誇りを、一層強く感じた一年でもありました。

10月20日には、「公益社団法人山形青年会議所創立70周年式典並びに祝賀会」を開催いたしました。山形の地に、県内外から多くのご来賓や姉妹JC、諸先輩方をお迎えし、歴史の重みと未来への決意を共有する、非常に感慨深い一日となりました。会の一員であることの誇らしさを改めて実感できた方も多かったのではないかでしょうか。

年間を通じて実施した各事業も、地域に根ざしたものとして、確かな手応えを感じることができました。

中でも「新・やまがたグルメ発掘プロジェクト」は、昨年度に続き2年目の開催となりました。小中学生たちが自由な発想で新しい“やまがたの味”を創り出す姿から

は、柔軟な思考と地域への誇りがひしひしと伝わってきました。これこそが、次世代の地域づくりを担う芽であり、未来に向けた確かな光だと感じています。

また、8月に開催した第46回山形大花火大会では、霞城公園に観覧席を設け、多くの市民の皆様と夏の夜空を共有することができました。テレビ中継による発信も含め、地域の活力や魅力を広く届ける大きな契機となりました。準備に関わったメンバー一人ひとりの努力と協力があってこそ成し得た、かけがえのない事業でした。

さらに、国内外の青年会議所との連携も継続して深めることができました。倉敷青年会議所やJCI台灣四維との交流、ASPACモンゴル大会では香港シティレディJCとのランチミーティング、世界会議チュニス大会への参加など、国際的な視点を持って地域を捉える経験は、私たちの視野を確実に広げてくれました。

こうした活動を通して得られた気づきやつながりは、これから運動を支える大切な礎となるはずです。そしてこの一年、多くの新しい仲間が加わったことも、今後の運動の広がりと深化を感じさせてくれる出来事でした。皆さん一人ひとりの情熱と行動が、確実に未来を形作っています。

結びに、私たちの運動を支えてくださっている全ての皆様へ、心より御礼申し上げます。企業やご家族の皆様、そして諸先輩方のご理解とご協力がなければ、私たちの活動はここまで実現できなかつたことは言うまでもありません。改めて深く感謝申し上げます。

来たる2026年度に向けて、これまでの学びと経験を糧に、次の世代へとバトンを繋いでまいりましょう。仲間と共に成長し、地域と共に未来を描くその歩みを、これからも絶やすことなく続けていきたいと思います。

一年間、本当にありがとうございました。

2025年度 新入会員紹介



新入会員代表挨拶

2025年度 新入会員会長

細川 勝矢

勤務先 花橋産業(株)

この度、山形青年会議所に入会させて頂き誠にありがとうございます。

本業では得難い貴重な経験や年齢・業種を超えた多くの方々との交流の機会に心より感謝申し上げます。

これからも地域に貢献できるように新入会員一同精進して参りますので、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



會津 杏志郎

勤務先
東北電化工業(株)

秋場 勝吾

勤務先
秋場巧業(株)



安孫子 信之輔

勤務先
(株)山形新聞社



安孫子 陽平

勤務先
(株)BLEND mark



阿部 逸

勤務先
Tass-tas



阿部 健

勤務先
(株)桜塗装



井上 維文

勤務先
(株)山形テレビ



遠藤 龍太郎

勤務先
遠藤商事(株)



鹿野 花代

勤務先
(株)ケイズコーポレーション



工藤 雄真

勤務先
(株)山形銀行



小山 尚生

勤務先
アクサ生命保険(株)



鹿野 純

勤務先
伊藤三之法律事務所



篠原 悠介

勤務先
(株)遠藤物産



菅原 啓介

勤務先
(株)山形ビルサービス



高橋 勝敬

勤務先
高橋畜産食肉(株)



田中 直輝

勤務先
山形市社会福祉協議会



寺澤 裕夏

勤務先
山形市役所



東海林 一葉

勤務先
(株)高見屋旅館



東海林 宏次

勤務先
(有)東海林ファスニング



長岡 建太

勤務先
(株)きらやか銀行



長瀬 勝哉

勤務先
近藤工業(株)



畠 佳代子

勤務先
(株)ビハーラ山形



半澤 清哉

勤務先
(株)半澤鶴卵



村岡 晃

勤務先
(株)滝口電気



元木 葉月

勤務先
Ruby
(株)わだ電気設備事務所



和田 真

勤務先
(株)わだ電気設備事務所

第46回 山形大花火大会御礼



特別委員長御礼

花火大会特別委員会 特別委員長 高橋 将史



第46回山形大花火大会は「ココロオドル」のテーマのもと、大きな事故やトラブルもなく天候にも恵まれ、盛大に開催することができました。本大会では中心市街地商店街組合様との連携を強めるために、フラッグ掲示や特別クーポン券などを準備し、地域全体で盛り上がりを創出する取り組みを展開してまいりました。また、会場でご観覧されたお客様のみならず、TUY様での生中継やYouTubeでのライブ配信を通じて、県内外の多くの皆様に感動と笑顔をお届

けすることができました。改めて、山形大花火大会は山形市民の心を一つにする一大事業であると強く感じました。次なる役割として、第1回から続く歴史と想いを次年度へしっかりと引きいでまいります。

最後に、行政をはじめとした関係各所の皆様、地域の皆様、市民サポーターの皆様、ご協賛いただきました県内外の企業・個人の皆様、大会運営にご尽力賜りました関係各位に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



本部長御礼

花火大会特別委員会 本部長 今野 雄貴



第46回山形大花火大会の開催にあたり、多大なるご支援とご協力を賜りました山形JCシニアクラブの皆様、そして現役メンバーの皆様に心より感謝を申し上げます。

本部長として携わる中で、準備段階から当日まで、仲間一人ひとりの情熱と行動力に何度も助けられました。暑さの中で汗を流しながらも、笑顔でやり切る姿、仲間を支え合う姿に、JCの「絆」と「情熱」の真価を強く感じました。

大会テーマである「ココロオドル」の言葉どおり、仲間とともに創り上げたこの花火大会は、

まさに私自身の心が躍る瞬間の連続でした。そして当日、最初の花火が夜空を彩った瞬間、全ての努力と想いが一斉に光となって弾けたように感じ、胸が熱くなりました。あの光景は一生忘れません。

この感動を次年度へとつなぐために、第47回大会がさらに素晴らしい大会となるよう、しっかりと引き継いでまいります。

本当にありがとうございました。最高に楽しい夏でした。



第46回 山形大花火大会御礼



総務企画部会



部会長
小関友栄

本年は「ココロオドル」を大会テーマに掲げ、花火大会に関わる全ての方々にとつて心躍る瞬間を楽しんでいただきたいそんな一身で大会を構築、運営を行いました。

当日は山形市中心市街地の商店街にラジオの街頭放送を実施、一体感を醸成し大会を盛り上げていただきました。またYouTubeの配信も行い、県内外多くの皆様に心躍るひと時を楽しんでいただけたのではないかと思っております。

ご協力をいただきました全ての関係機関、皆様に心からの感謝を申し上げるとともに今後とも山形大花火大会特別委員会に対しまして引き続きのご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

涉外広報部会



部会長
安部晃史郎

第46回山形大花火大会にあたり、協賛企業の皆さま、歴代の先輩方に心より感謝申し上げます。物価高騰など厳しい状況の中、変わらぬ温かいお力添えをいただき、協賛目標3,600万円を達成できました。先輩方のご支援と皆さまのご厚意に支えられた成果です。涉外部会一同、その想いに応える大会づくりに努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

設営防災部会



部会長
瀧祐輔

本年は昨年の観覧会場に加え新たに、東口交通センター屋上駐車場、山形市役所展望室を有料席として設けました。また最上義光騎馬像広場内の本部テントを移設し、桟敷席を拡大させるなど新たな試みが多くある中、大きな事故やトラブルなく、安心・安全な会場設営を整える事ができたのはご協力いただいた多くの皆様のおかげです。改めて感謝申し上げます。

次年度以降も持続可能な大会となるために、引き続き皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

警備交通部会



部会長
鈴木康志

本年は、霞城公園に移ってから5年目を迎え、過去のノウハウをもとに改善・対策を重ねてまいりました。地域住民の皆様、市民サポーターの皆様、関係各所ご対応いただいた方々のご協力により無事花火大会を終了することができました。改めて感謝申し上げます。

警備部会については、警察署・消防署の皆様・警備会社の皆様よりお力を頂戴するとともに山形市役所様との連携を強固にして持続的な事業の開催に向けてしっかりと引継ぎ、よりよい次年度の開催に向けて協力していかなければと思います。

2025年度 委員会事業報告

70周年運営委員会

委員長 鹿野六月

本年、山形青年会議所は創立70周年を迎え、記念事業としてローランド氏をお迎えした講演会を開催しました。また、記念誌の作成や提言発表を行い、70年の歩みと未来への思いを形にいたしました。10月20日には記念式典・祝賀会を開催し、300名を超える皆様にご臨席賜りました。

この節目を支えてくださったすべての皆様に、心より感謝申し上げます。



未来創造委員会

委員長 新立晃大

本年度の未来創造委員会では、2月公開例会「やまがたスポーツフェス～踏み出そう未来への一歩～」、次世代育成事業「新・やまがたグルメ発掘グルメ2025」を実施し、やまがたに住み暮らす子どもたちとそのご家族の皆様へ、新たな出会いや自らの可能性の幅を広げる機会を提供してまいりました。

皆様にご協力いただきまして、どちらも参加者だけでなくメンバーの皆様からも笑顔溢れる事業となりました。1年間ありがとうございました。



渉外支援委員会

委員長 金澤康裕

本年は山形JCより京都会議46名をはじめ、ASPACウランバートル大会11名、山形ブロック大会in寒河江53名、サマーコンファレンス44名、東北青年フォーラムin秋田36名、全国大会in佐賀53名、世界大会inチュニス10名と多くのメンバーに参加いただきました。また、4LOM合同例会の主管OMとして、合計141名での合同例会を開催しました。8月の山形大花火大会へ姉妹JCの台湾四維JCの来訪、10月の山形JC創立70周年へ香港シティレディJCが来訪。山形JCからは10月の台湾四維JC訪問、12月の香港シティレディJCの周年への参加も予定しております。各種大会や例会、姉妹JCとの交流を通してメンバーの成長する機会を創出できました。皆様のご協力に感謝申し上げます。



会員拡大委員会

委員長 松田大和

本年は7月8日(火)に新入会員認証式を執り行いました。また認証式後、歴代理事長3名にお越しいただき「時代の展開期の経験から学ぶこれからの山形青年会議所のあり方と人財の育成について」をテーマに講演会を開催しました。

新入会員だけではなく現役メンバーもJAYCEEのリーダーとして大切にしてきた考え方を知り、持続可能な組織に寄与できる人財を目指し、地域を牽引し続ける存在となれるよう成長に繋がる機会を提供しました。

ご参加、ご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。



会員交流委員会

委員長 石川卓磨

本年も山形JCじゃがいもゴルフコンペとシニア交流会を同日に開催いたしました。

じゃがいもゴルフコンペには89名、シニア交流会には106名とこれまでにない多くの先輩諸氏、現役メンバーに参加していただき盛大に開催することができました。本年は70周年にむけての記念コンペ、交流会では決起集会も兼ねており、親睦を深められる交流の機会となりました。

末尾になりますが、ご参加とご協力といただきました皆様に心から感謝を申し上げます。



総務広報委員会

委員長 中嶋英統

本年は、総会や理事会の運営と情報管理を要に、HP・SNS・広報誌の発信を整え、健全かつ円滑に各事業を支える縁の下の力持ちとして活動してまいりました。特に、より的確で効果的な事業構築の支えとなるべくスタッフセミナーを開催し、生成AIを学ぶ例会を実施しました。11月にはLOM内褒賞と卒業例会でメンバーの士気と伝統を継承し活発な組織基盤の強化を図るとともに、さらに盤石な組織づくりを進めるために、問題と課題を整理し次年度へつなげてまいります。



2026年度出向者報告



対内ブランドマネジメント委員会
副委員長

中嶋 康博

公益社団法人日本青年会議所

本年は日本青年会議所総務グループ対内ブランドマネジメント委員会の副委員長として出向し、機関誌「We Believe」の発刊や日本の対内広報、公式カメラマンとしての活動などに携わりました。外口真大会頭の公式訪問帯同などを通じ、LOMでは得られない貴重な経験を重ねることができました。この経験を次年度以降の活動に活かしてまいります。出向の機会をいただき、誠にありがとうございました。



総務広報委員会
副委員長

武田 貴義

公益社団法人日本青年会議所 東北地区協議会

本年度、東北地区協議会総務広報委員会に副委員長として出向させて頂きました。委員会内では各種会議体の設営や運営、広報関係を担って参りました。個人としては毎週の様に上がってくる各種議案のチェックや地区野球大会をこの山形の地で急遽開催できること、また地区卒業式を主務委員として担当させてもらうなど素晴らしい経験をさせて頂きました。この度頂きました貴重な縁や経験を活かし、本年度以降、LOMに対して必ず還元してまいりたいと思います。皆さんご指導、ご鞭撻の程誠にありがとうございました。



副会長
鈴木 健博

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 山形ブロック協議会

本年は、ブロック協議会のアカデミー委員会の担当副会長として、出向させていただきました。初めてのブロック出向でしたが、県内14LOMのメンバーの皆様と多く交流を持て、また昨年入会したメンバーをアカデミー生として迎え入れ、新しい価値観に触れることができました。アカデミー生に対して行ったプログラムを経て、彼らが少しでもJC活動に対して前向きになってくれれば幸いです。出向の機会をいただきありがとうございました。



2025年度卒業生のご紹介



2025年度卒業生の会 会長

畠 秀生

入会年度：平成27年
勤務先：(株)レビュー山形

卒業生の会会長挨拶

2025年度卒業生の会「ばっちこいの会」会長を仰せつかりました畠秀生と申します。本年の卒業生は21名と例年になく人数の多い年となりました。それぞれが山形青年会議所を通して、多くの学びを得るとともに成長させていただき、感謝の念に堪えません。

次年度以降はシニアクラブの一員として、これまで先輩諸氏から頂戴してきたご厚情を同様に山形青年会議所や地域に還元できるよう精進してまいります。

これまでお支えいただいた多くの皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



阿部則裕

入会年度：平成28年
勤務先：阿部則裕
法律事務所

安藤裕紀

入会年度：平成30年
勤務先：(有)シロニシ

石川卓磨

入会年度：令和3年
勤務先：八千代交通(株)

浦口陽平

入会年度：平成30年
勤務先：(株)三和フード
サービス

奥山竜士

入会年度：平成25年
勤務先：ジブアルタ
生命保険(株)

小松壮一

入会年度：令和元年
勤務先：(株)こまつ書店

櫻井修平

入会年度：令和4年
勤務先：(株)FAB 3

晋道勇一

入会年度：令和元年
勤務先：進和ラベル
印刷(株)

鈴木知浩

入会年度：令和3年
勤務先：黒澤建設工業(株)

高橋慶多

入会年度：平成30年
勤務先：遠藤設備建設(株)

高橋将史

入会年度：平成25年
勤務先：(株)高橋陶商

高橋佑輔

入会年度：令和4年
勤務先：(株)REALLY

瀧祐輔

入会年度：令和2年
勤務先：愛和建設(株)

長嶋桂右

入会年度：令和4年
勤務先：ソニー
生命保険(株)

花輪俊介

入会年度：令和元年
勤務先：(株)Wreath

布施翔太

入会年度：平成27年
勤務先：(株)布施

松田卓也

入会年度：令和元年
勤務先：税理士法人
霞城会計事務所

松田大和

入会年度：平成28年
勤務先：(有)東洋建装

三浦真守

入会年度：平成25年
勤務先：(有)HLP

吉田英二

入会年度：平成30年
勤務先：(株)吉田段ボール



次年度理事長挨拶

公益社団法人山形青年会議所
2026年度 第71代理事長予定者 中嶋 康博

平素より当会議所の運動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

私は、公益社団法人山形青年会議所 第71代理事長を務めます中嶋康博と申します。2026年度、山形青年会議所は71年目という新たな節目を迎えます。これまで脈々と築かれてきた歴史と伝統を受け継ぎながら、次代を見据えた新たな挑戦を重ねてまいります。

私たちは、地域や仲間への「共感」を大切にし、互いの想いを理解し合う中で新たな価値を創造します。そして、その共感を原動力に、誰もが一步を踏み出す「挑戦」の輪を広げてまいります。さらに、70周年提言“MUST(まもる・うみだす・そだてる・つなぐ)”の精神を胸に、これまでの歩みを未来へとつなぐ運動を展開してまいります。

先輩諸兄姉への感謝を胸に、仲間とともに歩む一年を通じて、地域の誇りと希望を育む活動を進めてまいります。どうぞ変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会員拡大の御礼とPR



会員拡大委員会
委員長
松田 大和

本年度も多くの諸先輩方及び現役メンバーの方々より、多大なるご協力いただきまして誠にありがとうございました。

9月認証を含めまして27名の新入会員を迎えることができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。これからも様々な地域社会の課題解決に向け、メンバー一人ひとりが課題解決に取り組む必要があります。

今年度の新入会員に対し、ご指導ご鞭撻をお願いするとともに次年度以降も引き続き会員拡大へのご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

編集後記

日頃より山形青年会議所の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。岡崎剛理事長のもと、「NEW Normal, Era, World」をスローガンに掲げ、一年間の活動を邁進してまいりました。

2025年度も残すところあと僅かとなりました。この一年間、多大なご支援、ご協力を賜りました関係諸団体の皆様や、変わらぬご指導をいただいた山形JCシニアクラブの先輩諸兄姉の皆様、そして、温かいご声援をくださった多くの市民の皆様には、重ねて厚く御礼を申し上げます。

本誌掲載の中嶋康博次年度予定者の挨拶にもありますとおり、山形青年会議所は、これまで脈々と築かれてきた歴史と伝統を受け継ぎつつ、地域への「共感」を原動力とした「新たな挑戦」を重ねてまいります。引き続き、未来を見据えた運動にご指導とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。